

車座会議会議概要

招集年月日 令和元年7月12日(金)

招集場所 地域交流センター 交流ホール

出席議員 12名

| | | | | | |
|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
| 1番 | 静 好洋 | 2番 | 田村 信幸 | 3番 | 山崎 篤史 |
| 5番 | 福永 敏行 | 6番 | 柏木 岳 | 7番 | 古野 司 |
| 8番 | 田中 久保 | 9番 | 照原 廣幸 | 10番 | 株田 茂 |
| 11番 | 連記かよ子 | 12番 | 新居 敏弘 | 13番 | 久川治次郎 |

欠席議員 2名

4番 山上 健造 14番 大澤夫左二

欠 員 なし

傍 聴 議会モニター 稲田 健一 徳島新聞

議会事務局 2名

局長 岡川 千歳 書記 東上 由里香

那賀の若人 23名

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 高木 健多 | 中村 道浩 | 鳴田 悦尚 | 山下 麻梨 |
| 宮崎 直人 | 東根 泰信 | 森本 智子 | 瀧 哲男 |
| 棟近 太郎 | 桑高 仁志 | 瀧 芳子 | 藤崎 隼 |
| 鈴木 泰祥 | 山口 順子 | 高橋 知己 | 日下 和穂 |
| 樫森 節子 | 戸田佐知子 | 蔭岡恵太郎 | 大西 雄三 |
| 東條アリン | 亀井 裕人 | 亀井 伸幸 | |

午後7時00分 開会

進行：連記議員

議長あいさつ

那賀の若人 代表 あいさつ

自己紹介

議会改革の歩みについて

○柏木議会改革調査特別委員長：ダイジェスト版で説明をする。

意見交換

討議テーマ

- ① 新しい那賀町の未来について
- ② 民意を議会や町政に反映させる方法について

○意見発表

1班・・・古野議長、福永議員、静議員

高木健多、中村道浩、嶋田悦尚、山下麻梨、宮崎直人、東根泰信

○嶋田さん：新しい那賀町の未来について1つ目は人が少なくなることへの対応、2つ目が那賀町にいる人が安心できる環境づくり、3つ目が仕事がないことへの対応、4つ目が保育面の改善という意見が出た。その中でアグリプロジェクトといって花の生産、加工、販売づくりができるのではないかという意見や、鷺敷にガソリンスタンドがいるのではないかなどのお話し合いをした。

民意を議会や町政に反映させる方法についてはこの車座会議が終わった後に議員だけ残って意見をまとめてくれることが一つと、鷺敷、相生だけでなく、上那賀、木沢、木頭でもこのような会を開いたらよいと思う。今、那賀町議会は積極的にケーブルテレビで放送しているので、流した後に個人から議会に対してメールで意見が言えるようなシステムづくりをしてほしい。匿名であれば、議員に対して誹謗、中傷も出ると思うので匿名ではなく、個人名を書いて送るようにすればよいと思う。

2班・・・株田議員、照原議員、田村議員

森本智子、瀧 哲男、棟近太郎、桑高仁志、瀧 芳子、藤崎 隼

○桑高さん：町の未来については自分の子どもがこの町で住んでいけるように不安を解消していきたい。また、高齢化が進んでいるので、老後をどう支えていけ

ばよいか。那賀町は広すぎるので、小学校校区で町づくりを考えてはどうかという意見が出た。

民意を議会や町政に反映させる方法については町づくりをどう考えていくかという結論になったが、以前あった飲み屋がなくなったり、小学校や中学校がなくなることによって地域が衰退している。高齢者は老人会などの組織で集まりやすいが、若い世代は仕事や家事で忙しいので、役員に出る人が限られてしまう。お互いが興味、関心を持つということから人材育成が大事であると思う。居酒屋を出店した人に町が出資してはどうか。このような会を1回限りで終わりにするのでなくて、町づくりについての勉強会は今後もやっていきたいと思う。

3班・・・連記議員、田中議員、柏木議員

鈴木泰祥、山口順子、高橋知己、日下和穂、檜森節子、戸田佐知子

○鈴木さん：那賀町では金を稼げなかったり、生活しづらい点は何点かあるという話が出た。そのような環境の中でも経済をつくってくれる人を生み出すか呼んでくるか。生活しづらい環境を好んでやってくる人もいる。呼び方を考えてみてはどうかという案が出た。

民意を町政に反映させる方法については那賀町の人口はおよそ8千人、うち高齢者が4千人、残り4千人の千人弱が子どもである。逃げ切れない世代はおよそ3千人の計算になる。統計によると全体の5%の意見を取れば、大体全体の意見が分かるということであるので、3千人の5%、150人の意見を拾い上げる仕組みが作れたら民意を反映させることができる議会になるのではないかと思う。那賀町では議会をテレビで放送するといった大変先進的なことを行っているので、SNSで会議の賛成、反対を諮ってみるなどをしてもおもしろいと思う。

4班・・・山崎副議長、久川議員、新居議員

蔭岡恵太郎、大西雄三、亀井裕人、東條アトム、亀井伸幸

○山崎副議長：新しい那賀町の未来について議員側から現在の状況、人口減少や林業不振、「帰ってこい」となかなか若い世代に言えない。大きな政治の流れの中で那賀町のような地方の小さな町では厳しい状況であるが、那賀町でできることをやっていくべきであるという意見が出た。那賀町にずっと住んでいる人たちだけの意見を聞くのではなく、地域おこし協力隊やIターン、Uターンした人たちの意見やアイデアが大切なのではないかという意見が出た。主婦目線でいうと子どもを育てやすい、暮らしやすいという那賀町を作らないといけないと思う。子育てはお金がかかるので、那賀町に住んでいたら通学が安くなる助成策はできないか。那賀町に住んでいて留

学ができたり、ライセンス取得がインターネットでできるようにしてはどうか。集金ゼロや朝給食をしてはどうか。学校や就職は他地域でも那賀町に住んでもらう。那賀町では高校生まで医療費の無料化ができていますので、そのような那賀町独自の対策をやっていけばよい。

ドローンや林業やミツマタやシカや和紙や温泉やゲストハウスなどいろいろなものを結び付けたら需要に応えられる供給ができるのではないかと。林業では社会補償費の半額補助があるが、きちんとできているか。皆伐補助は大変ありがたいことである。子育て以外にも那賀町に住んでいてメリットがあるような補助策を考えてほしいという意見が出た。

ドローンでは成功していると思うが、ドローン特区について次の段階が見えづらいので不安がある。議員の中では次として国の特区を取りにいかないと展開が見えないのではないかと話も出たので具体的に進めてほしい。

Uターンをした一番若い22歳の子の意見を聞いてみるともってこい丹生谷など帰って来てくれるような活動はすごく大切であると言っていた。この町を好きになるとか、町のことを思いやる子を育てるということはやはり大切なんだなと思った。また、自分たちが真剣に楽しんでいる姿を子どもたちに見せることによって町を好きになってくれると思う。

海外に行くときに半額補助してくれる制度が昔あった。私もこの制度を使ってサッカーの遠征に行ったことがある。那賀町はフットワークが軽いところがあるので、このような場で発言すれば、実現するようなこともある。民意を町政に反映させる方法についてはこのような話し合いの中で実現していくものもあると思う。一番若い子の意見はそれぞれが今できることを一生懸命やるべきである。一番年長者の議員はやらないと変わらないのでとことんやってほしいという意見であった。責任を取ってくれる世代が残っているうちに若い人はとことんやったらよいと思う。

○連記議員 : ありがとうございます。大変内容の濃い有意義な意見交換会だったと思う。また皆様方とも2回、3回と意見交換会ができれば、私たち議会も大変嬉しく思う。今後、皆様方からいただいた意見は、議会で検討をしてご返答したいと考えている。今日は本当にお忙しい中、参加いただきありがとうございます。

午後9時00分 閉会